地域高規格道路松本糸魚川連絡道路意見交換会まとめ

市町村名	白馬村	
開催日時	第1回 9月 27日(木) 第2回 10月 15日(月) 16日(火) 第3回 11月 6(火),7日(水) 合同報告会 11月 27日(火)	
項目	意見・提言等	
1.道路行政全般に	・自動車税を始めとして、車は多額の負担をしているのだから是非道路整備を推進してほしい。	・財源確保について本当はどうなっているか不安である。
ついて	・ 道路に関しては多数の意見より、周辺の少数意見を尊重すべきであると考える。	・自然景観を守るとして道路建設反対との意見があるが電柱の方がより多く自然景観を破壊して いる。
2.地域の課題、問題点	i i	・国道と高規格道路の除雪費の負担について明らかにしてほしい。
(まちづくり、自然 生活)	時間がかかるので非常に不便だ。	・現国道が格下げになる事により、市町村道となり、その負担は一体どうなるのか。私達の負担 が重くなるのではないか。明らかにしてほしい。
	・オリンピック道路の整備充実により、大型車、県外車による産業道路化が進んだ。国道148 号は交通安全、騒音、排気ガス等による生活環境の悪化を強いられている。 ・粉塵公害、夜間のトラック通過時の騒音・振動により健康被害が広がっている。 ・高速のインター迄が遠過ぎる理由からスキー客も減少傾向にある。	
	・災害時に一路線では脱出、救出困難である。交通渋滞中で医療機関へ行くのに時間がかかる。	
 3 . 道路の必要性	・海外(アジア圏)からの観光客を迎えるには、富山空港までのアクセスが重要であり必要である。	・財政赤字の中で莫大な費用のかかる道路の建設は難しい。
(建設の是非)	・木曽川右岸道路建設促進は約束されている。交通網の地域バランスの面でもこの地域に必要。 ・大糸線が将来的に廃止される心配がある。代替交通網の整備が必要。 ・生活道路の安全化が図れる。生活道路と広域的交通路(産業道路)の分離が必要。 ・高速道路IC周辺の経済的効果が実証されている(新潟)。社会活動もより広域化する。アクセス	・オリンピック道路が出来てからも観光客は減少傾向にある。目帰り客が多くなり、宿泊者が減る可能性も大きい。村の活性化には道路整備より白馬村の魅力作りを考える必要がある。 ・道路が出来ることにより、多数の観光客が入込むあまり、商業主義が先行する可能性がある。 白馬村の良さである農村を基盤とした独自の文化を失う恐れがある。
	の向上により観光関連事業、企業誘致など各種事業の活性化、将来的な雇用の確保が得られる。 ・白馬村の産業は季節変動の大きい三次産業に偏っている。一次、二次産業も育て健全な産業構	・高齢化が進む中、道路より医療、老人福祉に力を入れるべきではないか。・ヘリポートの建設は、早急に実現可能であり、救出体制、費用対効果も優れている。
	造を作る。 ・建設関連業界が活性化し、雇用の場も多くなり。経済的効果は大きい。	・高齢化が進み、高速道路網を必要としなくなるのではないか。JRの充実の方が望ましい。 ・信号の間隔を交差点の実情に合わせソフト的対策を計れば渋滞を回避出来るのではないか。
	・観光の振興や市町村合併に与える恩恵のことを考えると必要である。 ・福祉や医療施設の利用がより広域にわたり可能となり、より高度な技術を受ける事ができる。	・自然環境破壊や地域の分断という問題があるので必要ない。 ・景観、排気による空気汚染。融雪剤の使用など環境に対する影響が心配。
	・国道148号線周辺の騒音と交通事故の危険性を取り除く。	・国道148号線の騒音を取り除く整備を優先させてほしい。道路が増えれば騒音被害も増す。
	・ 車両のスムーズな通過により窒素酸化物・二酸化炭素・粒子状物質等環境汚染物質の削減が可能。	必要ない。
4.整備手法、ルート案		・早期実現を考慮して4車線道路ではなく当面2車線で検討してはどうか。 ・高規格道路という位置づけでは工事に時間がかかる。すぐに出来る既存道路の整備を望む。国
	・自然環境と騒音公害に配慮する。東山の中腹を利用して景観に配慮する。また、ルートは人家の 無い所に設定し危険性を減らす。ルート設定にはさまざまな配慮が必要。	道の混雑箇所だけ改良工事をすれば良い。例えばバイパスを作る等。簗場以南を複車線化する。 高瀬川右岸道路は朝混雑し渋滞もするので、橋との交差を立体化して信号機を減らす。
	・豊科を起点とし、長野 - 白馬 - 糸魚川でも良いと思う。松本〜糸魚川を基本にすると難しい。 ・白馬の東山をトンネルで抜け小谷、糸魚川へ通せば除雪もいらない。	・ 白馬村内は生活者の為の車と観光の為のシャトルバス、公共用途の車しか通行させないという 方法もある。
	・活動が予想される活断層近辺に作ることは危険である。ルートから除く。	
	・ 景色のいい所へサービスエリアを作り観光案内所を設置、そこから 1km で白馬の出口としたい。 ・ 予想される地震にも耐えられる道路にしたい。	
	・トンネル内の排気ガスを集塵、処理し大気に排出する機能を持たせる。	
- 4 //	・環境をこわさないために国道148号線を地下二重構造にして地下に高規格道路を通す。	物本原明をクタリー上所明に初まずようことでは出てない。ク
5.今後の進め方に	・早い時期に関係地域との話し合いを持ち、小谷村の考えや、大町以南の反対意見を考慮し、大町以北の調査結果、見積もりを基に白馬村内のルート選定をする必要がある。	・調査区間を糸魚川・大町間に認めてもらうよう国に陳情出来ないのか。 ・平成 12 年度以降建設に向けての調査が全くされていないのはなぜか。
ついて (住民参加、広報、情報提供、合意形成)	・大型トラックの通過は迷惑だが、この道路建設が全国的に必要であると考えると無視できない。	・何故大町以南だけ調査区間になったのか明らかにしてほしい。技術的にも費用の面でも困難な 大町以北の調査を後回しにしての計画は納得できない。
6.意見交換会について	・ 白馬村の意見は統一出来ると思うが、他の市町村民に対してはどうか。地域問の意見調整はと れるか。	
	・今回の議論で出された統一意見がどのようにして知事に届くのか、方法を明らかにしてほしい。 また、この議論の結果だけで、知事は方向性を決定してしまうのかどうか。心配である。	
	・今回の意見交換会の参加者は全住民の2%にも満たない。参加出来なかった住民の意見も汲み あげる必要がある。また、意見交換会の意見がどの程度反映されるかが疑問である。	
	・ルート案もだされていない計画に対する意見交換会に貴重な時間を費やしたくない。	
	・ 白馬村の魅力の向上への努力が必要。 ・ 小谷村民へのアンケート(1200人)では、66.2%の方が賛成、反対は 17.2%であった。	